

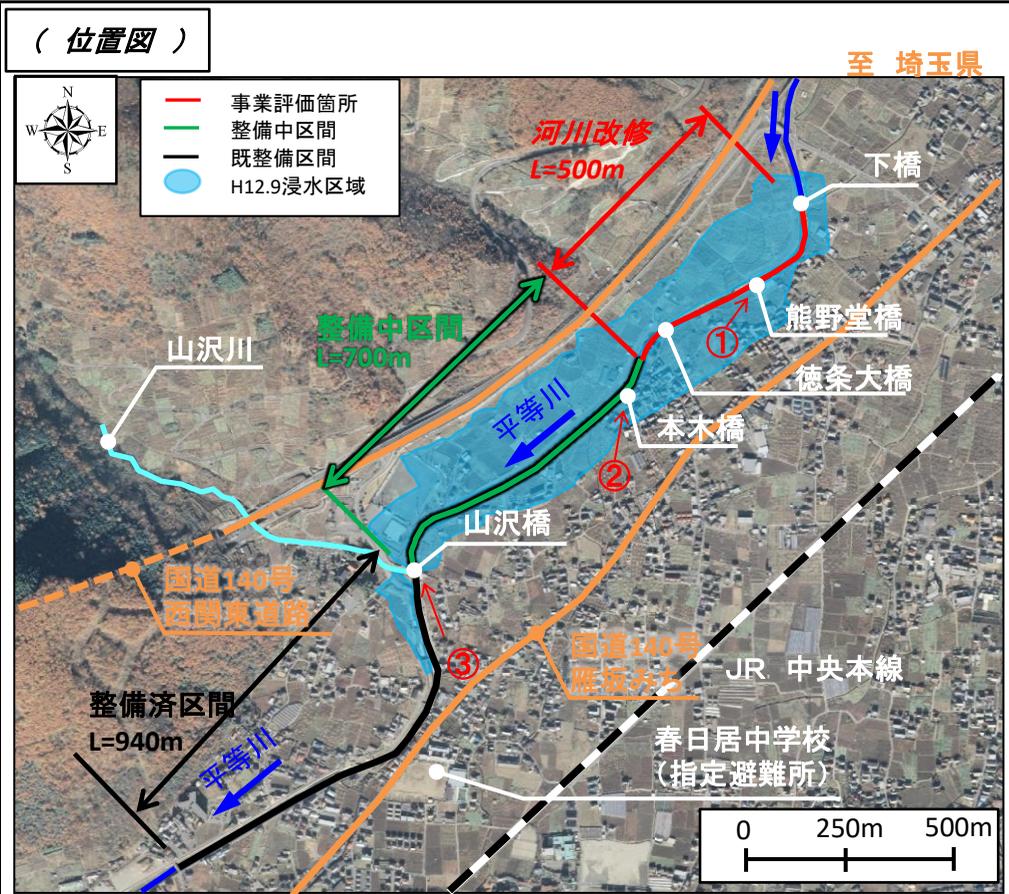
1. 事業説明シート

事業名	治水事業[基幹河川改修事業(国補)]	事業箇所	笛吹市春日居町熊野堂	地区名	平等川	事業主体	山梨県
<b>(1) 事業の概要</b>				<b>(3) 中・長期計画等の位置付け</b>			
<p><b>①課題・背景</b>                      平等川は、山梨市、笛吹市を流れ甲府市上曾根町付近で笛吹川に合流する流域面積33.2km<sup>2</sup>、流路延長12.9kmの一級河川である。                      当該河川では、平成12年9月12日に浸水被害が発生したため、下流から改修を進めてきた。当該区間においても、浸水被害の恐れがあり、地元からの改修要望もあることから、早急に治水対策を実施する必要がある。</p> <p><b>②整備目標・効果</b>  <input type="checkbox"/> 主要目標 ○洪水被害の防止                      ・改修目標流量に対する現況流下能力の割合：0.43&gt;0.4以下※                      (計画流量210m<sup>3</sup>/s、現況91m<sup>3</sup>/s)                      ・浸水被害又は水防活動の実績：有                      ・想定氾濫区域内における災害発生時の影響：有                      (重要な公共施設：国道140号、JR中央本線、春日居中学校)                      ※評価基準値</p> <p><input type="checkbox"/> 副次目標 ー</p> <p><input type="checkbox"/> 副次効果 ○被災時の被害波及の防止                      JR中央本線</p> <p><b>③目標達成の方法</b>                      平等川における河道の整備による流下能力の向上                      流下能力 Q=91m<sup>3</sup>/s→Q=210m<sup>3</sup>/s</p>				<p>・「山梨県総合計画」(令和5年10月改訂)                      ・「山梨県強靱化計画」(令和6年3月改訂)                      ・「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」(令和4年9月改定)</p>			
<b>(2) 整備内容</b>				<b>(4) 事業位置図等</b>			
<p><b>①整備内容</b> 河川改修 L=500m(徳条大橋～下橋)  <b>②着手年度</b> 令和8年度 <b>③完成見込年度</b> 令和22年度  <b>④総事業費</b> 1,900百万円(国費950百万円(5/10)県費950百万円(5/10))</p> <p><b>⑤年度別の整備内容</b> (事業費)                      令和8年度 詳細設計、測量 一式 155百万円                      令和9～10年度 用地測量 用地補償 一式 217百万円                      令和11～22年度 取水堰、護岸工、橋梁工 一式 1528百万円                      ※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p><b>⑥既整備内容・期間・事業費</b>                      整備中区間 河川改修 L=700m                      平成27～令和7年度 事業費：8.5億円                      整備済区間 河川改修 L=940m                      平成16～平成26年度 事業費：12億円</p>							

## 2. 評価シート

<p><b>(1) 公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>河川法第1条及び第9条により河川の洪水防止を義務づけられている</p>	<p><b>(5) 整備手法の有効性</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業区間より下流の改修区間についても、河道拡幅にて流下能力の確保を行っている。</li> <li>本事業区間についても、計画規模の洪水に対する浸水被害等を解消するために有効な手法であり、同様な工法にて河道拡幅を計画する。</li> </ul>																																													
<p><b>(2) 事業執行主体の妥当性 (県が行うべき事業か)</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>県が管理する一級河川 (指定区間) である。</p>	<p>□<b>他の整備手法の有無</b> <span style="float:right">〈有・<u>無</u>〉</span></p> <p>(状況)</p>																																													
<p><b>(3) 経済効率性</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:10%;"><b>総事業費</b></td> <td style="width:15%;">1,900</td> <td style="width:15%;">百万円</td> <td style="width:10%;"><b>工期</b></td> <td style="width:15%;">R8~R22</td> <td style="width:10%;"><b>基準年</b></td> <td style="width:10%;">R7</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"><b>経済効率性</b></td> <td><b>費用</b></td> <td>1,562</td> <td>百万円</td> <td><b>便益</b></td> <td>13,762</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>  <b>建設費</b></td> <td>1,399</td> <td>百万円</td> <td>  <b>一般資産被害防止額</b></td> <td>6,808</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>  <b>維持管理費</b></td> <td>163</td> <td>百万円</td> <td>  <b>公共土木施設等被害防止額</b></td> <td>5,967</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>  </td> <td></td> <td></td> <td>  <b>その他※</b></td> <td>987</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>  </td> <td></td> <td></td> <td>  </td> <td></td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2"><b>B/C</b></td> <td colspan="5">8.8</td> </tr> </table> <p>※その他は、農作物被害便益、営業停止損失便益、応急対策費用便益 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>	<b>総事業費</b>	1,900	百万円	<b>工期</b>	R8~R22	<b>基準年</b>	R7	<b>経済効率性</b>	<b>費用</b>	1,562	百万円	<b>便益</b>	13,762	百万円	<b>建設費</b>	1,399	百万円	<b>一般資産被害防止額</b>	6,808	百万円	<b>維持管理費</b>	163	百万円	<b>公共土木施設等被害防止額</b>	5,967	百万円				<b>その他※</b>	987	百万円						百万円	<b>B/C</b>		8.8					<p>・なし</p>
<b>総事業費</b>	1,900	百万円	<b>工期</b>	R8~R22	<b>基準年</b>	R7																																								
<b>経済効率性</b>	<b>費用</b>	1,562	百万円	<b>便益</b>	13,762	百万円																																								
	<b>建設費</b>	1,399	百万円	<b>一般資産被害防止額</b>	6,808	百万円																																								
	<b>維持管理費</b>	163	百万円	<b>公共土木施設等被害防止額</b>	5,967	百万円																																								
				<b>その他※</b>	987	百万円																																								
						百万円																																								
<b>B/C</b>		8.8																																												
<p><b>(4) 事業実施・規模の妥当性</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <p>当該箇所は流下断面が不足しており、過去の浸水被害の再発を防止するため、最も効果的な事業規模である。</p> <p>□<b>同等施設等 (計画を含む) の有無</b> <span style="float:right">〈有・<u>無</u>〉</span></p> <p>(状況)</p>	<p><b>(6) 環境負荷等への配慮</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>河川工事の実施にする際には、河床に瀬や淵が形成されるよう起伏をつけたり、魚類の移動経路を確保するなど、動植物の生息・生育・繁殖環境に配慮した多様な河川環境の整備を図る。</li> </ul>																																													
<p>□<b>必要整備内容とその根拠</b></p> <p>(状況)</p> <p>平等川流域の計画流量は<math>Q=210\text{m}^3/\text{s}</math>であるのに対し、現況流下能力は、<math>91\text{m}^3/\text{s}</math>であり、<math>Q=210\text{m}^3/\text{s}</math>を流下可能にする河川改修が必要である。</p>	<p><b>(7) 事業計画の熟度</b> <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>(理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>整備中区間の改修が順調に進捗しており、令和7年度予算にて完了予定。連続区間 (上流部) である本区間の改修に対する地元の要望も強く、熟度は高い。</li> </ul> <p>《<b>総合評価</b>》 <span style="float:right">〈<u>妥当</u>〉・妥当でない〉</span></p> <p>・7項目全て妥当と評価されることから実施が妥当と判断する。</p>																																													

### 3. 添付資料シート (1)



平成12年9月12日洪水出水状況 熊野堂橋



平成12年9月12日洪水出水状況 本木橋



平成12年9月12日洪水出水状況 山沢橋

